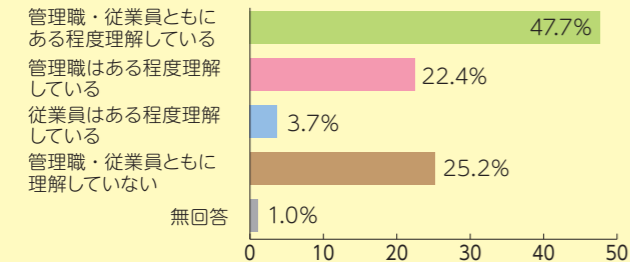


昨年いわき市では「第3次いわき市男女共同参画プラン」の策定にあ関する実態や意識、課題等について調査し、214の事業所から回答を得

たり、従業員規模30人以上の市内の事業所にワーク・ライフ・バランス等にました。特集ではテーマ別に具体的な取り組み事例を取り上げます。

## 1 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)

### ワーク・ライフ・バランスの理解度



### 取り組み事例



### 期待される効果

- ・従業員の健康意識、時間管理意識が向上する。
- ・生産性や業務効率の向上。
- ・仕事への意欲や会社への愛着心が高まる。
- ・休暇の取得により仕事以外の活動に加わることが出来る。
- ・人としての視野が広がり創造性が仕事に活用できる。

## 2 労働時間や有給休暇

### 長時間労働是正の取り組み

#### 取り組み事例

87.9%の事業所が「取り組んでいる」という回答!

- 身近な上司からの声かけ
- 時間効率を意識させる仕組みの導入
- 計画的な残業禁止日の設定
- 担当者がいなくても他の人が代替できる体制づくり

### 有給休暇取得の取り組み

#### 取り組み事例

79%の事業所が「取り組んでいる」という回答!

- 身近な上司による有休取得の奨励
- 仕事の標準化(他のメンバーで仕事を代替できる)
- まとまった有休取得の奨励
- 部下の有休取得率を管理職の評価に反映



「ワーク」と「ライフ」の相乗効果「ワーク・ライフ・シナジー」といいます。プライベートを充実させるのが上がる(アウトプット)ので、家も上がります。「ワーク」と「ライフ」ではなく、どちらも寄り添い好循環する関係です。それこそがワーク・ライフ・バランスの本質なのです。少子高齢社会の日本。共働き世代が増え、働きながら子育てや介護問題に直面する人生を謳歌するか…。まずは生産性・生産性の上がる働き方

### 期待される効果

- ・時間効率に対する意識が高まり、生産性がアップする。
- ・過重労働が抑制されるため、社員の心身の健康維持に役立つ。
- ・休暇時のフォローにより「お互い様」という意識が育ち、助け合う企業風土が育まれる。

## 3 女性の活躍推進

### 取り組み事例

84%の事業所が「取り組んでいる」という回答!

- 女性の管理職を積極的に登用
- 出産後も継続して就業できるように勤務地や労働条件に配慮している
- 管理職に対し女性活用の重要性についての研修をしている

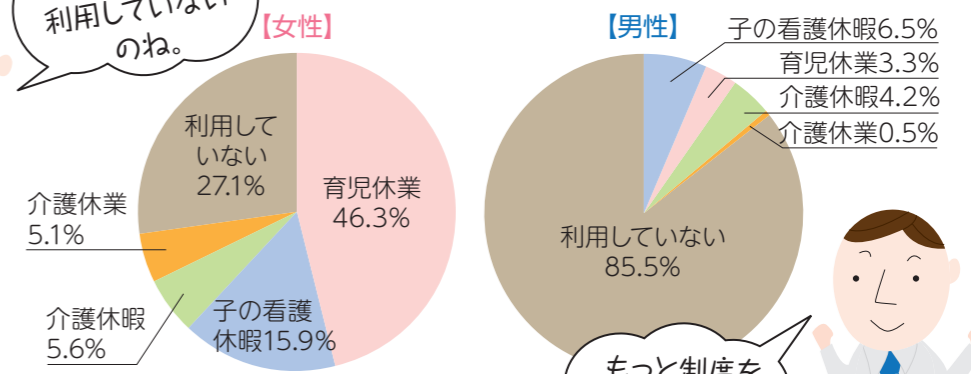
### 期待される効果

- ・短時間勤務制度の導入により、休業復帰後も働きやすくなる。
- ・職場の雰囲気が変わる。
- ・仕事で女性の能力を発揮できる機会が増える。



## 4 育児・介護支援

### 育児・介護の休業・休暇の利用



### 取り組み事例

- 勤務時間の短縮
- 時間外労働の軽減・免除
- 育児・介護に要する経費援助や在宅勤務制度の導入
- 休業中の情報提供、復職後の研修
- 始業・残業時間の繰り上げ・繰り下げ

### 取り組み実施の効果

- ・若手男性社員が積極的に育児休業を取得できるようになり、子育て世代以外の者の意識が変わった。
- ・企業内に保育園が設置されたことにより安心して子どもを預けることができ、予定より早く復職できるようになった。